

第20回世界歴史都市会議の開催について

更新日：2026年10月5日

ID:34279

資料提供日

令和8年10月5日（月曜日）

問い合わせ先

担当課 姫路市観光コンベンション室

担当者 松本、田中

電話番号 079-221-2064

本市主催の国際会議「第20回世界歴史都市会議」について、次のとおり開催します。

会議名

第20回世界歴史都市会議

主催・共催・後援

主催：姫路市

共催：世界歴史都市連盟事務局（京都市）

後援：文化庁、日本政府観光局（JNTO）、兵庫県、日本イコモス国内委員会

開催日時

令和8年11月10日（火曜日）から令和8年11月12日（木曜日）

会議会場

アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

参加者

会議出席者：アメリカ・フェニックス市をはじめ、15カ国35都市（9月30日時点。10月7日まで申込受付。）

聴講者：140名（9月30日時点。10月30日まで申込受付。）

本会議での議論や発表の内容を広く共有するため、聴講者枠を設定しています。

会議テーマ

「持続可能で強靱な未来に向けた文化遺産の保存と活用」

本会議では、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」、ターゲット4「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」に着目し、議論や発表を展開します。世界の歴史都市が姫路市に集結し、文化遺産を保護し未来へつないでいくための取り組みを共有します。

会議公式ウェブサイト

- 第20回世界歴史都市会議 公式ウェブサイト [別ウィンドウで開く](#)

主な実施内容

基調講演（11月10日（火曜日）午前）

文化遺産の保存と活用に関する講演を実施します。

- 講演者：九州大学高等研究院 特別主幹教授 河野俊行氏

ラウンドテーブル（第1部：11月10日（火曜日）午前、第2部：11日（水曜日）午前）

「文化遺産保存のための持続可能な未来の共創」をテーマに、自然災害や環境問題といったさまざまな脅威から文化遺産を保護するための取り組みについて、プレゼンテーションと質疑応答を実施します。

- スピーカー都市（発表予定順）計7都市
京都市、安東市（韓国）、奈良市、ワンガヌイ市（ニュージーランド）、ブルサ市（トルコ）、フィレンツェ市（イタリア）、パート・イシュル市（オーストリア）

姫路城・好古園視察（11月10日（火曜日）午後）

巨大な木造建築群木造である姫路城がさまざまな技術や知恵により保存・継承されていることを知っていただくため、現地視察を実施します。

歓迎レセプション（11月10日（火曜日）午後）

姫路城・三の丸広場を会場に、会議出席者を歓迎し、本市の文化や食の魅力を発信するための歓迎レセプションを実施します。

ユースプログラム（11月11日（水曜日）午前）

中・高校生年代を対象に実施した英語スピーチコンテストの表彰を実施します。

また、小学生年代を対象とした絵画展示については、アクリエひめじ展示場において11月10日（火曜日）から11日（水曜日）まで常設展示します。

展示に向けて募集した市内の絵画作品のうち、最優秀作品を選定し、トートバッグにプリントして会議の参加者などに配布するとともに、本プログラムで表彰を実施します。

専門家セッション（11月11日（水曜日）午後）

文化遺産の保存と活用について、専門家によるプレゼンテーションと意見交換を実施します。

- 登壇者
九州大学高等研究院 特別主幹教授 河野俊行氏
國學院大學観光まちづくり学部 教授 下間久美子氏
東京大学教養教育高度化機構 特任准教授 宮崎彩氏

市長セッション（11月11日（水曜日）午後）

「文化遺産の保存と活用の好循環の構築」をテーマに、文化遺産を保護するだけでなく、適切に活用し、保存と活用の好循環を実現するための取り組みについて、登壇都市によるパネルディスカッションを実施します。

- スピーカー都市（発表予定順）計5都市
姫路市、福崎町、バート・イシュル市（オーストリア）、シュシャ市（アゼルバイジャン）、ユニサン市（フィリピン）

閉会式（11月12日（木曜日）午前）

本会議における議論や発表の内容を踏まえ、「姫路宣言」を発表します。

エクスカーション（11月12日（木曜日）午後）

姫路市（漁業見学ツアー、書寫山圓教寺ツアーの2コース）、京都市、奈良市の4コースに分かれ、エクスカーションを実施します。なお、京都市及び奈良市については、13日（金曜日）までの日程にて実施します。

その他

市民や地元団体らの文化財保護の活動について知っていただくため、提案型協働事業として、会期中に市内文化財の公開を予定しています。